

科目名	英語特論Ⅱ English for Specific Purposes Ⅱ			担当教員	水野 知津子・鳥越秀知		
学年	5 年	学 期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	15220046	単位区別	履修
学習目標	1. 正確に英文が表す意味を理解できるように、英文読解力の向上を目標とする。 2. 文法や語法の問題・聴解演習を行い、TOEIC や英検に対応できる英語力を高めることを目標とする。						
進め方	1. 週1時間は40人クラスで総合問題集を解く。 2. 週1時間はクラスを2グループに分け、20人クラスでそれぞれOutput活動と聴解を中心とした授業を行う。 英語は実技科目である。使わないと英語力はつかない。英語を声にだしてどんどん使ってもらう。毎回の積極的授業参加が不可欠である。将来に必要なコミュニケーション力育成のためにもペア・グループ活動で協働しながら共に力を伸ばしていく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	学習内容 オリエンテーション＋Lesson 1～3 (7) Output 活動と聴解 (7)			自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができる。 B1:1, 2			
	[前期中間試験] (1)						
	学習内容 Lesson 4～6 (8) Output 活動と聴解 (7)			論文やマニュアルなど、自分の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できる。 B1:1, 2			
	前期末試験			外国語学習者向けに易しい英語 で書かれた物語(Y.L. 1. 2 以上)を辞書無しで読むことができる。 B1:1, 2			
	学習内容 Lesson 7～9 (7) Output 活動と聴解 (7)			自分の専門分野に関して、平易な英語でプレゼンを行い、内容に関して簡単なやり取りができる。 B2:1, 2			
	[後期中間試験] (1)						
	学習内容 Lesson 10～12 (8) Output 活動と聴解 (7)			自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。 B2:1, 2			
	後期末試験						
評価方法	中間・期末試験を80％、取り組み態度、パフォーマンステスト、小テストを20％の比率で総合評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	英語Ⅰ（1年）→英語Ⅱ（2年）→英語Ⅲ・語学演習（3年）→英語特Ⅰ（4年）→英語特Ⅱ（5年）						
教材	Transfer c 英語総合問題演習 3rd edition (桐原書店) 英検2級総合対策教本 (旺文社) HyperListening Plus Intermediate (桐原書店)						
備考	理解度・定着度により進度を調整することがある。 担当教員への連絡先： mizuno@dg.kagawa-nct.ac.jp						